

前号のサポセンでお伝えしたのは「モヤっと」こそがまちを変えるタネってことじゃあ、その「モヤっと」をどうにかしたい、芽吹かせたいと思ったら？ 次のステップは「きっかけ」。まずはまちに出て、いろんな「きっかけ」に出会ってみよう。

### 高校生 まちを歩けば「きっかけ」に当たる！ 夏の“アゲアゲ”なボランティア体験

学校も、学年も、キャラもさまざまな5人。歩いて、語って、ザリガニ獲って・・・高校生ならではのまちづくりの「視点」には、大人が気付かされることもたくさんありました。



ひまじほのか  
久 朋花さん (ほのちゃん)  
古川高等学校3年 大崎市在住



たかはしゆうか  
高橋 由有樟さん (ゆうかちゃん)  
古川高等学校3年 大崎市在住



やまだらしまき  
山田 知紗希さん (ちーちゃん)  
古川学園高等学校2年 大崎市在住



むとうすずの  
武藤 鈴乃さん (すずちゃん)  
大崎中央高等学校1年 大衛村在住



たかはしあやな  
高橋 綾菜さん (あやちゃん)  
小牛田農林高等学校3年 大崎市在住



1  
目  
目

### 地域を知ろう

古川駅前～七日町～川端周辺を歩いてみました。



まるで絵本の世界？  
古いすてきな裏道



ベンチや街灯がおしゃれ♡アンティーク？



使えそうな空き店舗が  
たくさんあった



NPO法人エコバル化女沼  
活動をはじめたきっかけは？  
理事長・高橋 和吉さん

理事長の高橋さんは、元小学校の先生。地域の自然環境を守り、これからの地域をつくる子どもたちが、楽しく自然環境を学べる場が必要だと感じ、活動を始めたそうです。

エコバル化女沼の  
情報はこちらから→



### 活動を知ろう

2  
目  
目

エコバル化女沼の活動に参加！  
ザリガニ駆除からみてきた、  
地域の環境問題。



在来の生き物や水草を守る！  
地道な活動って、大切。



3  
目  
目

### 想いをまとめよう

高校生が考えた、アゲアゲなまちづくり!

若い人が気軽に  
過ごせる場所、ほしい!

★ピボットの空きスペース  
使えない?  
★公園とバスケットゴール

古川の名物料理が  
あったらいいな

★学校帰りに小腹を満たす  
部活あがりにガッツリ系も!  
★高校生と商品開発コラボ

### 3日間の感想聞かせて！ 高校生リアルボイス

生まれて初めて  
大崎のまちを  
歩いて楽しかった。

他校の子と  
知り合えて  
良かった

みんなに地元を  
もっとアピールしたい

良い所も  
改善していくべき所も  
知ることができた

企業とコラボして  
大崎市をPRしたい

コミュニケーション  
ふれあい  
交流の場が欲しい

パタ崎さんに  
いろんな所で  
会いたい!

ド田舎ともいえない、  
都会ともいえない、  
そんな大崎市の  
イメージを  
まずは話したい

### 担当からひとこと



サポセンスタッフ・竜太

この3年間はコロナ禍でさまざまに制限され、たくさんの不満もあったと思います。でも、それに負けず自分の進路について夢を語る姿や、慣れない体験でも積極的に取り組む姿は本当にキラキラしていました！最終日にみんなで集まって写真を撮っている様子を見て、この短期間で仲がぐっと近づいたんだなあととても嬉しくなりました。3日間本当に最高でした！ありがとうございます！



サポセンスタッフ・楓

まちを知りたい、自分を変えたい、モヤっとを何とかしたい...活動のきっかけは人それぞれだと思います。人や情報・資源、またつながることを大切にしている方はぜひ大崎市市民活動サポートセンターまでご連絡ください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

### case study

#### 市民の活動 もうひとつのカタチ 災害ボランティアを知っていますか？

今年7月の記録的な大雨は市内各地に大きな被害をもたらしました。地元の中高生、県内外ボランティアとともに、浸水被害のあった地域で活動した、大崎市松山に拠点を置く一般社団法人四つ葉の代表・高橋伸実さんにお話を聞きました。



写真右が代表の高橋さん

一般社団法人  
四つ葉の  
情報はこちらから!



自分のことが好きな人は、ボランティアに参加して、その愛情を他の誰かへ注いでください。自分のことが嫌いな人は、ボランティアに参加し、人に「ありがとう」と言われたり、誰かのために動けた自分のこと、今よりも好きになれるですよ。

Q「なにかをはじめたい」と思っている10代〜20代にひとことお願いします。

被災地域の細かいニーズをお聞きし、支援物資の配布、ゴミ捨てや泥出し、炊き出しや交流会など開催。被災地と「なにかしたい」という人の繋ぎや、防災の講演会もしています。この夏の災害では、泥で汚れた写真を洗浄する作業も行いました。

Q 具体的にどんな活動をしていますか？

東日本大震災を機に災害ボランティアを始めました。令和元年の9月に一般社団法人四つ葉を設立。翌月の台風で大崎市古川と鹿島台が被害を受け、法人として支援活動に当たりました。

ISO900認証 環境と品質の大切さを共に考える



代表取締役 我妻 孝

大崎市古川小野字馬場25-1  
TEL 0229-28-2639 https://wagatsuma-kk.com

広告

電話090-6684-4970 (平日10時~18時)  
※対面相談も行っています/要予約  
みやぎの女性つながりサポート型支援事業の  
委託を受け、おおさき地域創造研究会が実施しています。



広告